



都議会自民党  
都政リポート

# 都議会自民党 活動リポート

令和3年3月30日発行

東京都議会自由民主党 川松真一朗事務所 東京都墨田区石原3-20-9 TEL03-6240-4370 FAX03-6240-4380

都政に関するご意見・ご要望をお寄せください。御意見お待ちしています。

東京都議会議員  
墨田区選出

かわまつ しんいちろう  
**川松 真一郎**



感染拡大阻止、経済支援施策、  
医療現場支援、入院病床数確保…

## 新型コロナウイルスの 感染再拡大を阻止する**施**策

累計  
2.95  
兆円

新型コロナウイルス感染拡大を阻止するための緊急事態宣言の解除と並行するように「ワクチン接種」も各地で医療従事者からはじまり、少しずつ明るさが見えてくるような気配がします。しかしながらまだ新型コロナウイルス感染症収束への道のりは長くなると感じざるを得ません。これからも、納得のいく都政実現のため、都議会自民党一同心を合わせ邁進していく所存です。



東京都では、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を一つの目標として「都市計画の整備」が進められてきましたが、未曾有の感染症の流行によりオリンピック・パラリンピック東京大会も2021年に延期となり、新たに「命の大切さ」「経済活動の支援」そして「安心な医療の実現」に都が一丸となって取り組む姿勢が再認識させられることになったと思います。

都民の日常生活に密接にかかわりあいながら皆さんの要望に応えていくのが「自治の究極の姿」ですから、そういう視点で政策決定の優先順位を決めていかなければなりません。

ところが、可能な限りの行政サービスを実現するには予算化が必要であり、財源がなければ満足な医療支援も実現不可能です。社会経済の支援も見極めながらの財源確保は、安全安心な暮らしを実現するために必要不可欠な要素です。都議会自民党はこの課題に取り組み「行政・企業・都民」の共同(協働)のあり方の実現に全力で取り組んでいます。

東京都議会議員

令和3年 予算特別委員会(2021年3月11日)

川松真一郎

■都民税20%減税を提案

質問

「私、この一年間、いろんな方の声を聞いて、いろんなまちの人たちの話を聞いてきました。

まさにこのまち場を歩いていると、先が見えないコロナ禍におきまして、都民の疲弊感と閉塞感を感じずにはいられないんです。いわずもがな、先ほど冒頭にいったように、パートの機会も減っているという声を聞きます。

そもそも、総務省の全国消費実態調査をもとにした国土交通省の中間層世帯の経済力分析によれば、東京は四十七都道府県で最下位なんですね。トップの三重県に比べて一ヶ月当たり十万円以上低い。つまり、都民の可処分所得は低いんです。だからこそ、さまざまなサポートが必要なんですよと一年間皆さんにお願いしてきました。一律給付、さまざまのことできないか。こういうお金がかかる子育て世代、皆さん方、チルドレンファーストと掲げるんだったら、助けていただきたいと思います。

ぜひ、私、この生活費全般をサポートする意味において、コロナ禍、時限的で構いませんので、都民税の二〇%減税を小池知事には決断していただきたい。そのことで、東京は一つになる、これをいって、私の質問を最後とさせていただきます。」

と川松委員が小池都知事に見解を求めたところ、

答弁

○小池知事 「ご意見として伺います。」

とのことでした。



## 行政の様々な手続きがオンライン化で簡単に

**26** 億円規模



行政への各種申請手続きについて昨年来のコロナ禍以来多くの要望が聞かれました。「とにかく待たせる」「同じものを何度も書かせる」「たらいまわし」などの不満の声を減らせるよう、急ピッチで国や都と区市町村が連携し、オンライン化を加速しています。

電子端末操作が不得手な方が手続きで困ることがないよう支援体制も確保します。

## 無電柱化の推進

**340** 億円規模



都はこれまで「防災機能の強化」「安全で快適な歩行空間の確保」「良好な都市景観の創出」を目的として無電柱化を推進してきました。2024年度までに環状7号線は100%を目指します。

一方で、都道に比べ狭隘で進捗が遅れている区市町村道についても支援事業を延長し、引き続き取組を進めます。

## 救急活動体制の充実 ～暮らしの安全・安心確保～

**38** 億円規模

東京消防庁

出場から現地到着までの到着時間は2017年に7.3分が2019年には6.6分と着実に改善してきました。しかし、通報から現地到着までの時間は、全国平均が8.7分であるのに対して、都は10.9分と遅れています。

救急隊の増強、指令管制システムの効率化などに取り組み、高齢化とともに増え続ける救急需要に応える体制を構築します。

## 都議会自民党コロナ対策検討チーム 小池知事へコロナ対策要望書を提出



「見えざる敵」との闘いが長期化する中、自肃要請や営業活動への制限などにより、都民生活及び都内経済活動に大きな影響を及ぼしています。医療面の対策に万全を期すのは勿論、日常生活や経済活動の再生にも取り組んでいくことが重要。コロナ対策で疲弊している東京の経済を立て直すことは、感染症対策を支える東京の活力を維持することに繋がります。よって、知事に対し、更なる対応を複数回に亘り強く要望しています。

## 一人一台端末整備へ

**132** 億円規模



一人一台端末の整備を推進し、令和3年度中には都立高校全校に無線LANの整備が完了。学校施設のネット環境も大幅に改善します。特別支援学校に通う児童生徒には、障害種別に応じた端末の配備など、ICT教育環境の拡充を進めてきました。

今後は、ICTを活用した授業の指導力向上などについても保護者や児童生徒の声を丁寧に反映してまいります。

## 不便な踏切解消に向け

**390** 億円規模



国土交通省が指定した全国57ヶ所の「改良すべき踏切」。東京都は踏切対策基本方針で、鐘ヶ淵駅前・伊勢崎線第17号踏切について、同駅付近を鉄道立体化の対象区間として位置づけました。朝夕のラッシュ時には、交通渋滞の大きな要因となるだけではなく、踏切事故の危険性もあり、引き続き取り組みを進めます。墨田区内では、他の踏切も同様の課題を抱えています。

## 墨田区新型コロナワクチン接種実施計画（概要）

区民全員が接種する「接種率100%」を想定した計画で、下記の通りです。

- **4月19日～ 高齢者施設の入所などで先行接種**
- **5月10日～ 高齢者**
- **6月21日～ 基礎疾患のある方々**
- **6月28日～ 60から64歳の方々**
- **7月5日～ 一般の方々**

### 集団接種会場

墨田区役所、旧隅田小学校、みどりコミュニティセンター、立花体育館

### 基本型接種会場

区内17医療機関（超冷凍低温庫を設置）

済生会向島病院、墨田中央病院、東京曳舟病院、中村病院、山田記念病院、同愛記念病院など 相撲協会と連携し両国の国技館も使用予定。



### 墨田区コロナワクチン 接種問い合わせダイヤル

**☎：03-6734-0307**

受付時間：午前8時半～午後5時15分  
(土・日曜・祝日を含む) 多国語対応

期間：2月～9月 ※状況により延長  
回線数：20回戦※5月6月は40回戦  
対応内容

接種券の再発行・接種会場案内  
集団接種会場と2次救急病院の予約  
・キャンセル受付  
その他接種に関するお問合せ

都政への声をお聞かせください。 <http://www.kawamatsu2011.com>

まちづくりの基本は、都民の声をどれだけ都政へ反映させることができるかだと思います。皆さんの声を是非お寄せください。

**東京都議会自由民主党 川松真一郎事務所**

東京都墨田区石原3-20-9 電話：03-6240-4370 FAX：03-6240-4380

